

2017年第1回 IEEE Japan Council 理事会 議事録

日時：2017年3月13日（月） 14:00～17:45

場所：大手町ファーストスクエアカンファレンス Room C

出席者：津田 Chair、尾上 Vice Chair、杉江 Secretary、眞田 Treasurer、
藤野(代理)、中沢、原田、笹瀬、佐藤(良)、佐藤(丈)、矢野、石橋、山本、
濱村、中西、浅野、福田(代理)、大越、桑原、原崎、青山、島村(代理)、
橋本、西宮、南、西原、中里（敬称略、順不同）

オブザーバ：百武（敬称略）

事務局：加藤、福岡 幹事会社：田島、柴田

議題：

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 資料（1）
2. 2017-18年 Japan Council 理事会構成 資料（2）
3. 2016年 Japan Council 決算報告・監査報告 資料（3）
4. 2017年 Japan Council 活動計画及び予算【審議】 資料（4）
5. 2017年 Japan Council 中間会計報告 資料（5）
6. 常設委員会 前回理事会以降の活動報告 資料（6）
 - 6-1 Chapter Operations Committee
 - 6-2 Student Activities Committee
 - 6-3 Awards Committee
 - 6-4 Industry Promotion Committee
7. Ad-Hoc 委員会 前回理事会以降の活動報告 資料（7）
 - 7-1 Long Range Strategy Committee
 - 7-2 History Committee
8. Affinity Group 前回理事会以降の活動報告 資料（8）
 - 8-1 Women in Engineering
9. 各支部 2017年活動計画および前回理事会以降の活動報告 資料（9）
10. JC Coordinator 報告 資料（10）
 - 10-1 MD Coordinator
 - 10-2 YP Coordinator
 - 10-3 LMAG Coordinator
11. その他 資料（11）
 - 11-1 R10 Meeting 参加報告
 - 11-2 日本での IEEE セクション活動 60周年記念イベント報告
 - 11-3 MGA SDEA 委員会の活動状況
 - 11-4 [参考]支部別会員数の推移

議事：

0. 津田 Chair ご挨拶

全国各地からの参加に対して謝辞が述べられた。新体制最初の理事会であり、これから2年間よろしく願います。

1. 前回理事会議事録の確認【審議】 資料 (1)

杉江 Secretary より前回理事会(2016年12月開催)の議事録案について説明がなされ、異議なく承認された。

2. 2017-18年 Japan Council 理事会構成報告 資料 (2)

杉江 Secretary より前回理事会以降に選出された理事についての説明がなされた。各新任理事および支部長より一言ずつご挨拶があった。

3. 2016年 Japan Council 決算報告・監査報告 資料(3-1、3-2、3-3)

眞田 Treasurer より2016年 Japan Council 決算報告がなされた。なお、本決算報告については、会計士に承認され、IEEEに受理されたことが報告された。

4. 2017年 Japan Council 活動計画及び予算修正【審議】 資料 (4-1、4-2)

杉江 Secretary より2017年度の活動計画案が説明された。
眞田 Treasurer より、2017年の予算案について説明された。2017年度予算は異議なく承認された。

5. 2017年 中間会計報告 資料 (5)

眞田 Treasurer より報告がなされ、現在の会計状況が説明された。順調に推移していることが報告された。

6. 常設委員会 前回理事会以降の活動報告

6-1 Chapter Operations Committee 資料(6-1、別紙1)

藤島 COC Chair の代理として福田 Vice Chair から報告がなされた。JC COC Meeting の開催計画、Chapter 支援費の申請状況等が説明された。Chapter 支援費の活動方針は昨年度方針を踏襲することが説明された。

6-2 Student Activities Committee 資料(6-2)

大越 SAC Chair より報告がなされた。SYWL Workshop と Student Branch Leadership Training Workshop(SBLTW)の開催状況について説明された。SYWL Workshop では IEEE での活動を通じた学生のメリットを議論した。2017年活動計画

は、SB の新規設立の促進や名古屋開催 MAW への学生派遣を計画している他、YP や WIE との連携や共催、海外支部との学生交流の推進を継続する。

6-3 Awards Committee

資料(6-3)

桑原 Chair より報告がなされた。Awards Committee 設立の経緯、活動方針、体制が説明された。活動状況報告として全体会合を 11 月に開催しており、ノウハウ共有や受賞状況のアップデートを行った。2017 年活動計画については、受賞データベースの適宜更新と委員会合の開催予定が報告された。

6-4 Industry Promotion Committee

資料(6-4)

原崎 Chair より前回理事会以降に開催された IPC 委員会の活動状況について報告がなされた。2017 年活動計画では、名古屋支部主催 MAW の各社展開や SYWL イベント等の各種イベントへの企業支援を推進している。旧東京支部 60 周年記念イベントで幹事会社 8 社に Supporting Friend of IEEE Member and Geographic Activities (MGA) Award が贈呈されたことが報告された。

7. Ad-Hoc 委員会 前回理事会以降の活動報告

7-1 Long Range Strategy Committee

資料(7-1)

尾上 Chair より報告がなされた。今期の委員会メンバが紹介された。活動方針として、IEEE 会員の価値を訴求する施策を整理していく旨が述べられた。継続テーマとして、Affinity Group を通じて首都圏を中心としたワークショップの企画や地方開催等の企画を支援する。IPC と協調して産業界との連携強化を支援する。

7-2 History Committee

資料(7-2)

島村 Vice Chair(代理)より報告がなされた。今期の委員会メンバの紹介があった後、Histelcon 2017 の開催準備状況について説明がなされた。また、Histelcon 期間中に次回の場合を開催する計画が述べられた。

8. Affinity Group 前回理事会以降の活動報告

資料(8-1)

8-1 Women in Engineering Affinity Group

矢野理事(WIE Chair)より報告がなされた。2016 年 12 月に TOWERS にてエッセイコンテスト及び優秀ポスター発表への表彰式を実施した。2016 年活動報告サマリーの WEB 発行を行った。2017 年は旧東京支部 60 周年記念イベントにて Japan SYWL Workshop を開催し、R10 WIE との交流を行った。

9. 各支部 2017 年活動計画および前回理事会以降の活動報告

9-1 札幌支部

資料(9-1)

藤野札幌支部理事(代理)より報告がなされた。前回理事会以降の活動報告としては、総会、第1回理事会を開催した。2017 年活動計画としては、例年通り、理事会、共催事業、表彰事業、各種講演会開催を計画する。

9-2 仙台支部

資料(9-2)

中沢 Chair より報告がなされた。前回理事会以降の活動報告としては、MD 関連では本部より 2016 Outstanding Section Membership Recruitment and Retention Performance の表彰を受けた。マイルストーンについては、「垂直磁気記録」は申請に向けて作業を進め、「自己補対アンテナ」は BoD の承認を得た。仙台支部 WIE の設立について申請手続きを支援したことが述べられた。

9-3 信越支部

資料(9-3)

原田 Chair より報告がなされた。前回理事会以降の活動報告としては、支部役員会、講演会を開催した。来年度も基本的には 2016 年活動に沿って支部役員会や事業開催を進める計画である。若手支援として学生国際会議参加支援や IEEE Young Researcher Paper Awards を継続実施し、学生会員の増員を目指す。

9-4 東京支部

資料(9-4)

笹瀬 Chair より報告がなされた。前回理事会以降の活動報告としては、マイルストーン贈呈式 2 件、旧東京支部 60 周年記念イベント、R10 Meet 2017 に参加した。また、東京支部 HP にて、ニュースレターやホームページ更新を行った。

9-5 名古屋支部

資料(9-5)

石橋 Chair より報告がなされた。前回理事会以降の活動報告としては、総会、学生表彰事業、MAW 実行委員会が開催された。名古屋支部 LMAG 設立に向けて講演会を実施することを決定した。また、2017 年活動計画は、例年通り、主催講演会、共催研究会等をトータル 20 件程度計画している。

9-6 関西支部

資料(9-6)

山本 Chair より報告がなされた。前回理事会以降の活動報告としては、総会を開催し、若手奨励のため YP 賞表彰や新フェロー紹介を実施した。2017 年の活動計画は、計 5 回の理事会開催を予定している他、総会への若手の参加を促進する施策を考えたい。

9-7 四国支部 資料(9-7)
濱村 Chair より報告がなされた。前回理事会以降の活動報告としては、第1回役員会、セキュリティシンポジウムを開催した。2017年活動計画については、講演会や学生生活動支援等、2016年を踏襲した活動を計画している。

9-8 広島支部 資料(9-8)
中西 Chair より報告がなされた。前回理事会以降の活動報告としては、総会を開催し、功績賞贈呈を行った。2017年活動計画については例年通り総会、理事会、講演会を開催する。IEEE 広島支部学生シンポジウム(HISS)においては昨年に引き続き実施する。

9-9 福岡支部 資料(9-9)
浅野 Chair より報告がなされた。前回理事会以降の活動報告としては、理事会を開催した。また、支部として Membership Development アワードを受賞した。2017年活動計画については、三菱電機の屋外大型ディスプレイの IEEE Milestone 贈呈式の準備を進めている。2018年に開催する MAW2018 の準備 WG の検討を IPC と連携しながら進める。

10. JC Coordinator 報告

10-1 MD Coordinator 資料(10-1)
橋本 MD Coordinator から報告がなされた。2017年は、TAB と連携を取って MD の活動を考えていきたい。各支部の MD 担当とも連携を取っていきたい。

10-2 YP Coordinator 資料(10-2)
西宮 YP Coordinator から報告がなされた。2017年は、会員向け YP News Letter の発行と R10 内で他国との連携を検討したい。YP News Letter により国内に広く訴求し、YP 会員数の増加や新規 YP AG の設立を推進していきたい。

10-3 LMAG Coordinator 資料(10-3)
青山 LMAG Coordinator より報告がなされた。会員の高齢化とともに Life Member の増加傾向にある。LMAG では Life Member のニーズに応じた施策と支援活動を考えている。

11. その他

11-1 R10 Meet2017 参加報告 資料(11-1)
杉江 Secretary より報告がなされた。会議開催の速報として、開催概要、参加者内訳、アジェンダ、各種イベント、開催トピックスが説明された。

11-2 R10 設立 50 周年・旧東京支部設立 60 周年記念イベント報告

資料(11-2)

杉江 Secretary より報告がなされた。イベント開催の速報として、開催概要、各種イベント、記念セレモニー、参加者内訳、収支が説明された。SYWL Workshop については、JC イベント西宮委員長から報告がなされた。開催概要と目的、スケジュール、参加者内訳について説明された。

11-3 MGA SDEA 委員会の活動状況

資料(11-3)

南 MGA SDEA Member より報告がなされた。Japan Initiatives 活動は過去 3 年間の各種予算支援が終了した。今年はそれらの結果を評価して総括を行う予定である。IEEE Smart Tech MAW の活動を推進する。

以上

【補足】

理事会終了後に、60 周年記念イベントについての意見交換と懇親会が開催された。